

第37回特別展

# 地震展 2008

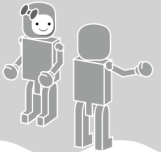


今わがっていること  
知ってほしいこと

私たちが暮らす日本列島は、世界で最も地震活動が活発な地域であり、いくどとなく地震の被害を受けてきました。大阪をはじめ近畿もその例外ではありません。

そこで本特別展では、地震とは何か、どうして日本では地震が多いのかといった基本的なことから、大阪周辺の活断層の分布や動き、今後数十年のうちに起こる可能性が高い次の南海・東南海地震について、科学的にどこまでわかってきたのかを紹介します。

地震を恐れるだけでなく、知ることを備えの第一歩とし、さらに地球や地域を読み解く地学の視点へとなげ、理解してもらうことを狙いとしています。



## 関連行事

**特別記念講演会** 要申込み ※ペ切 10月27日(月)

■「スロー地震とは何か 巨大地震予知の可能性をさぐる」

日時：11月2日(日) 午後2時～午後4時  
会場：自然史博物館 講堂(本館1階)  
講師：川崎 一郎(京都大学防災研究所・地震予知研究センター教授)  
\*1995年兵庫県南部地震(阪神淡路大震災)が起こったあと、日本国内には高精度・高密度の地震観測ネットワークが整備され、地震に関する基礎的研究が飛躍的に進んでいます。その中の大きなトピックが、南海トラフや日本海溝などのプレート境界型巨大地震が想定される場所での「スロー地震」の発見と、「アスペリティ」という概念の登場です。スロー地震と普通の地震は何が違うの?アスペリティって何?地震予知をめざした研究の最前線の話をお聞かせします。

**特別記念講演会** 要申込み ※ペ切 11月14日(金)

■「地震考古学から21世紀の巨大地震を考える」

日時：11月29日(土) 午後2時～午後4時  
会場：自然史博物館 講堂(本館1階)  
講師：寒川 旭(独立行政法人 産業技術総合研究所 招聘研究員)  
\*地震活動を考古学的手法を用いて研究する「地震考古学」を提唱し、文献に記述がない時期の南海地震を検証するなどして、南海地震が規則正しい周期で起こってきたことを明らかにしてきた、産業技術総合研究所の寒川さんをお招きし、講演会を開きます。「地震考古学」の立場で、活断層から発生する内陸地震や、「今世紀の南海地震」像について解説していただきます。

**ジオラボ**

■「ペットボトルで液状化を実験!」

日時：11月8日(土) 午後2時30分～午後3時30分  
集合：自然史博物館 ナウマンホール  
\*地震の時に土砂がぐしゃぐしゃになり、建物などに大きな被害をもたらす地層の液状化を、ペットボトルを使った簡単な実験で再現します。液状化や地震への理解を深めましょう。  
※この行事は「子ども夢基金」の支援を受けて実施しています。

**地震体験**

地震体験車がやってくる!

日時：11/1(土)、2(日) 12/6(土)、7(日)  
午前10時30分～午後3時30分(午後0時～午後1時30分まで休憩)  
場所：自然史博物館 玄関前ポーチ

詳しくは <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>  
をご覧ください!!

**テーマ別自然観察会** 要申込み ※ペ切 11月18日(火)

■活断層を歩くシリーズ7「上町断層」

日時：11月30日(日) 終日 雨天中止  
場所：大阪市  
\*大阪市内を南北に延びる上町断層をたずねます。上町断層は谷町のお寺が集まる上町台地の西縁に位置していて、大阪府群など古い地層を大きくくずらしていることはわかっていますが、最新の活動時期や活動の周期など不明な点もあります。断層に関する湧水や地形などを観察します。

**自然史オープンセミナー**

■「地震-1 日本列島のおいたちと地震」

日時：10月4日(土) 午後3時～午後4時30分  
会場：自然史博物館 集会室  
講師：川端 清司(地史研究室)  
\*地震展の概要と、その中で特に日本列島のおいたちと地震との関係について解説します。

■「地震-2 大阪の地盤と地震」 要申込み ※ペ切 10月18日(土)

日時：11月1日(土) 午後3時～午後4時30分  
会場：自然史博物館 講堂(本館1階)  
定員：250名  
講師：三田村宗樹氏(大阪市立大学理学研究科)  
\*大阪の地盤について研究をされている大阪市立大学の三田村宗樹先生を招いて、大阪平野の地盤と地震の関係について講演していただきます。

■「地震-3 津波とはどういうものなのか?」

日時：12月6日(土) 午後3時～午後4時30分  
会場：自然史博物館 集会室  
講師：中条 武司(第四紀研究室)  
\*地震の際に起こる津波は、地震の揺れよりもはるかに広範囲に被害を及ぼします。津波とはどのようなものなのかを解説し、日本で行われている津波対策について紹介します。

**ワークショップ** おいでよ!



なまちゃんハカセと展示ツアー 当日受付

日時：10月25日(土)、26日(日)、11月22日(土)、23(日)  
場所：地震展2008会場(自然史博物館ネイチャーホール)  
\*会場の中の「なまちゃんキッズパネル」をキーワードに、ハカセがちょっとだけ展示を紹介するよ。大人の方もいっしょにどうぞ。

平成20年 10月25日(土) ▶ 12月7日(日)

▶ 開館時間 午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)  
\*10月31日までは午後5時閉館(入館は午後4時30分まで)

▶ 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)

▶ 観覧料 大人400円 / 高校生・大学生300円 / 中学生以下無料  
常設展や植物園も見られるセット券がおすすめです。大人600円 / 高校生・大学生400円  
\*障害者手帳などをお持ちの方、大阪市内在住の65歳以上の方は無料。証明書(ツルのマークの健康手帳、または大阪市発行の敬老優待乗車証等)を提示してください。  
\*博物館本館・長居植物園への入場は、別途料金が必要です。(セット券を除く)



**会場** 大阪市立自然史博物館 ネイチャーホール (花と緑と自然の情報センター2F)

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23  
<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/> 06-6697-6221

主催 大阪市立自然史博物館、特定非営利活動法人大阪自然史センター 後援 大阪府、大阪府教育委員会



地下鉄御堂筋線「長居」3号出口→東へ約800m  
JR阪和線「長居」→東へ約1000m